

第1号議案

令和7年度事業計画並びに収支予算について

令和7年度事業計画

今年度の重点取組

I. 事業方針

主食用米の価格高騰、温暖化に伴う気象変動、種子生産者の経営実態を踏まえ、稲麦大豆の優良種子が県内に安定的に生産、供給できるよう取り組みます。

特に今年度は、種子品質の更なる向上とリスク管理の強化に重点的に取り組みます。

また、県内の種子産地が将来にわたって維持・発展していくための具体的対応策の検討を進めます。

II. 実施事業

1. 優良種子の安定生産・安定供給

主要農作物振興の基盤となる優良種子の安定生産・安定供給を図るため、計画的な種子生産と生産指導、品質管理に取り組みます。

(1) 種子生産計画の策定

県・関係機関と連携し、翌年の種子需要量見込、備蓄数量、一般栽培の販売動向などを総合的に勘案し「種子生産計画」を策定し、種子産地に配分します。

※ 令和7年産種子生産計画：別表1

〈主な事業〉

- ・ 種子生産計画の策定
- ・ 種子消毒量の算定（令和7年産から当年産のみ）
- ・ 種子生産者と採種ほ場面積の確保
- ・ 飼料用米多収品種の種子確保
- ・ 種子生産の県間調整



(2) 生育状況と生産見込数量の把握

ほ場確認等に参加し、種子生産ほ場での生育状況を現場確認し、必要な対策を助言指導するとともに生産見込数量の的確な把握に努めます。

特に今年度は、産地における圃場確認方法の平準化に取り組みます。

〈主な事業〉

- ・ 圃場確認方法の平準化の検討
- ・ ほ場確認会の立会・確認

(3) 種子品質の確認・管理

種子検査見本品の作製・配付や調製程度確認会を開催するとともに産地における発芽試験結果の確認、備蓄種子の発芽試験等を行います。

特に今年度は、発芽試験の方法など種子産地における種子品質確認の充実強化に取り組みます。

〈主な事業〉

- ・ 下見指導会、農産物検査の立会・確認
- ・ 発芽試験結果の分析検討
- ・ 種子検査見本品の作製・配付と調製程度確認会の開催

(4) 種子栽培技術の向上

各種研修会の開催、種子伝染性病害防除等への助成を行い、種子生産技術及び品質の向上を図ります。

特に今年度は、種子栽培の慣行化による品質低下を防ぐため、チェックシート(GAPシート、栽培履歴と連携)を新たに導入し、確実な実施確認に取り組みます。

〈主な事業〉

- ・ チェックシートの導入(大豆6月・麦類10月・稲2月)
- ・ 種子品質向上研修会や種子生産研修会の開催、栽培講習会への参加
- ・ 種子伝染性病害防除、品種転換圃場の漏生対策(除草剤)への助成

※参考：チェックシートイメージ

時期	作業内容
上旬	田植え
中旬	標示板の設置 こぼれ稲の処理
下旬	

【作業内容】

○田植え

- ・苗取り・運搬は、複数人で確認する。
- ・種子増を先に移植する。
- ・適正な株数(60~70株/坪)で移植する。
- ・さし苗(補填)は行わない。

○標示板の設置

- ・標示板に損傷がないことを確認した。
- ・標示板に必要事項(圃地・品種・品種等)を記入した。
- ・風等で標示板が倒れないように設置した。

○こぼれ稲の処理

：

(5) 混種事故防止

混種事故防止に向け、チェックシートの導入や2品種以上を作付する生産者の取組事項の明確化と実施確認、出穂時のDNA検査の検討等に新たに取り組むなど、コンタミ事故を絶対に起こさないための取組を強化します。

また、稲種子のDNA分析を実施して混種事故を未然防止します。

〈主な事業〉

- ・ チェックシートの導入 (大豆6月・麦類10月・稲2月)
- ・ 種子生産者の1品種作付け推進
- ・ 2品種以上を作付けする種子生産者の確認項目の明確化と実施確認
- ・ 原種専用ネット使用の利用・確認
- ・ 収穫機械等を起因とするコンタミ事故の検討
- ・ 稲種子DNA分析・調査の強化
- ・ 事故処理財源の確保 (事故処理負担金)

※事故処理に備えて種子生産者から1円/kgを預かります。(事故がなければ返金)

(6) 備蓄管理

作柄不良や急激な需要拡大においても優良種子を安定して供給できるよう、関係機関・団体とともに、種子の需要動向把握や適正規模の備蓄確保を行うとともに、販売ができなくなった残量種子の処分を、残量処理負担金を徴収して実施します。

〈主な事業〉

- ・ 計画的な種子の備蓄
- ・ 県補助金の活用 (県オリジナル品種)
- ・ 備蓄種子の発芽試験
- ・ 残量処理の実施 (種子購入者からの残量処理負担金)

※残量処理財源として、稲・麦類・大豆の種子販売価格に10円/kgを加算します。

(7) 受検対策

受検対策会議を開催し、事前指導事項の徹底を図り、栃木米品質の高位平準化と円滑な受検の実施を図ります。

〈主な事業〉

- ・ 米受検対策会議の開催
- ・ 品質向上に向けた啓蒙チラシの作成配付

(8) 稲麦大豆（一般栽培）の生産振興

稲麦大豆の需要拡大に向け、栽培技術指導及び品質改善指導資料を作成、配付します。

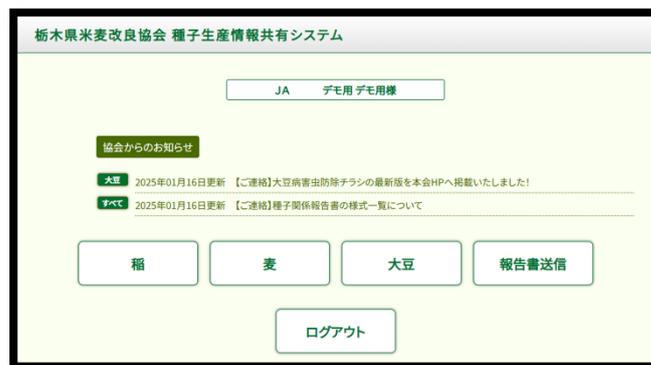
また、安全・安心で高品質、高食味な稲麦大豆を生産するため、地域の生産者を対象に地方農業振興協議会が実施する各種講習会に助成します。

(9) 情報発信

協会情報紙「とちぎ 米麦改良」を発刊・配付するとともに当協会ホームページにて生産者や関心のある一般消費者向けに生産技術等各種情報を発信します。

(10) 種子生産情報システムの運用

システムの本稼働により種子関連の情報共有の即時化を図ります。また、チェックシート等との連動による種子に係る事務処理の効率化を検討します。



図：種子生産情報共有システム

2. 種子生産体制の強化

稲麦大豆の優良な種子が将来にわたって安定供給されるよう種子生産者や種子場JA、種子センター等の現状と課題を踏まえた種子生産体制強化に取り組みます。

〈検討事項〉

- ・優良種子生産体制&技術の次世代継承策（事例調査等）
- ・種子センターの維持強化（計画的修繕と財源確保、職員の負担軽減）
- ・将来的な種子産地のあり方

Ⅲ. 令和7年度主な事業活動予定

別表2



別表1 令和7(2025)年産主要農作物種子生産計画(県内産)

種類	品種名	面積 (ha)	数量 (t)			売上見込額 (税別・百万円)	注1	
			7年産	6年産	前年産比			
主食米	コシヒカリ	208	832	832	100%	329		
	あさひの夢	47	206	206	100%	81		
	なすひかり	11	43	41	106%	17		
	とちぎの星	99	435	435	100%	172		
	夢ささら	0.3	1.2	1.2	100%	0.5		
	きぬはなもち	4	14	14	100%	6		
	小計	368	1,531	1,529	100%	606		
飼料米	月の光	18	77	77	100%	28		
稲 計		387	1,608	1,606	100%	634		
六条大麦	シュンライ	46	103	117	88%	31	注2	
二条大麦	ニューサチホールデン	213	692	692	100%	196		
	とちのいぶき	5	16	18	90%	5		
	もち絹香	8	26	17	155%	7		
	小計	226	735	727	101%	208		
小麦	さとのそら	14	50	55	91%	14	注3	
	イワイノダイチ	15	48	35	138%	14		
	タマイズミ	12	38	55	70%	11		
	ゆめかおり	2	5	27	19%	2		注4
	小計	42	141	171	82%	41		
麦類 計		313	978	1,016	96%	280		
大豆	里のほほえみ	-	-	70	-	-	注5	

注1) 売上金額は、生産計画数量に種子生産者価格を乗じた。

注2) シュンライは、上記の外数として8tを県外に生産委託し、令和7年産で111tを確保します。

注3) さとのそらは、上記の外数として25tを県外に生産委託し、令和7年産で75tを確保します。

注4) ゆめかおりは、上記の外数として20tを県外に生産委託し、令和7年産で25tを確保します。

注5) 大豆種子の生産数量は4月に決定します。

有機水稻	コシヒカリ	1.3	1.7	1.7	100%	-	
------	-------	-----	-----	-----	------	---	--

別表2 令和7(2025)年度主な事業活動予定

実施事業	事業活動の展開											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
種子取扱会議	○											
種子センター(消毒)会議	○											
採種は設置計画会議												
種子センターあり方検討会	★	★			★	★						
リーダー研修会												
種子生産研修会												
調製程度確認会												
受検対策会議												
ほ場確認会	麦○											
生産物確認会・検査・下見会												
混種事故防止対策	○											
発芽調査												
備蓄種子残量処理												
事故処理												
技術指導資料作成配布												
助成金・交付金												
「とちぎ米麦改良」の発行												
協会ホームページ												
総会												
理事会												
幹事・事務局員会議												

★新規実施事業